潮来市立延方小学校(NOBUKATA　ELEMENTARY　SCHOOL) 学校便り　2024. 11. 15発行

のぶっ子

第７号
児童数 329名
(男189名女140)

〒311-2442
潮来市小泉2090

Tel :0299-66-2076
Fax:0299-66-4692
E-mail:nobukata-el@itako.ed.jp
URL:https://www.itako-school.jp/nobukata-el/

みんなが主役・みんなで学ぶ学校

あいことば：**あいあい大作戦**　スローガン：**やさしく かしこく たくましく**

就学時健康診断を実施しました。内科･歯科検診や聴力･視力検査などを行いました。元気いっぱいの新一年生が集合しました。

４年生が北浦湖岸で自然体験学習を実施しました。北浦湖岸自然を守る会や茨城大学の協力で、水質や生物の調査体験をしました。

３年生が鹿島特別支援学校に行ってきました。一緒にオリエンテーリングをしたり、ダンスを踊ったりして交流を深めました。

小中連携あいさつ運動を行いました。少し肌寒い陽気でしたが、中学生や青少年相談員さん達と元気に挨拶を交わしました。

授業参観を行いました。１年生は生活科（おなか元気教室）、２年生･３年生･４年生は図画工作、５年生は理科（餅つき）と社会、６年生は算数でした。たくさんの保護者の方にご来校いただき、手伝ってもらったり、頑張る姿を見てもらったりすることができました。

４－２が体育でフラッグフットボールの研究授業を行いました。県内からたくさんの先生方が来校し、参観･意見交換しました。

「生成 AI の教育利用」について研究授業を行いました。６－2と2－1で授業を公開し、近隣からたくさんの先生方に来て頂きました。

潮来市児童生徒音楽発表会に3, 4年生が参加しました。小学校は１校だけでしたが、「ありがとうの花」と「せかいじゅうかいじゅう」を元気に披露しました。

10月に二つの会議に参加しました。一つは「潮来まちづくりシンポジウム2024」です。第１部は「高校生によるまちづくり（案の）発表」、第２部は「潮来市の未来を考えるトークショー」でした。第１部では、潮来高校生と麗澤大学生・筑波大学生が連携し、「潮来の祭りを体験型にして外国人観光客を呼び込む。」「観光資源の間を結ぶ交通機関にカーシェアを利用する。」「潮来のかくれた特産品を紹介する。」などの斬新なアイデアが発表されました。第２部では、市長をはじめ、会社役員、大学生、高校生がパネラーとなって「潮来市の未来」について、パネルディスカッションが行われました。その中で、(株)ルリアンの小西弘樹氏の発言が心に残りました。「若者が残ってくれるかどうかは、ふるさとが自分にどれだけ投資してくれたかどうかである。」という趣旨の発言でした。

二つ目は、「潮来市立学校給食センター運営委員会」です。潮来市の給食センターは築43年、夏場の熱中症予防に発電機やスポットクーラーを増設して対応しているとのことでした。また、食材や献立には工夫を凝らし、米は潮来市のブランドコシヒカリの「あやめちゃん」、豚肉は、茨城県のブランド豚「ローズポーク」もしくは「美明豚」、さらには地場産物の活用、季節の行事に会わせた「行事食」など、毎日の美味しい給食の訳がわかりました。そして、この美味しい給食が、小･中学校の９年間無償で提供されている。これは、未来を担う子ども達へのふるさと潮来からの投資以外のなにものでもないと感じました。

二つの会議を通して、私たち学校現場も、日々の教育活動に精一杯取り組むことで、子ども達がふるさとに愛着をもってもらえるようにしていかなければならないと強く思いました。